

スタートアップ部門 まちづくり活動計画書

1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団体名	大門 DIVE! 実行委員会
まちづくり活動名	よそ者目線で大門の昔と今をつなげる橋渡し！
活動地域	名古屋市中村区大門地域
活動の背景	（団体の立上げのきっかけや活動に至る背景をアピールしてください。） 名古屋市の事業であるナゴヤ商店街オープンで、新大門商店街をイベントにより盛り上げるコミュニティデザインチーム『大門 DIVE!』として結成。よそ者の視点から、大門地域の魅力を再発見し、イベントを通して大門を親しみやすい安全な街としてPRしていく。
目的・目標	（活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください。） <ul style="list-style-type: none"> ■目的 外部に住む人間の視点から、イベントを通して街の魅力を発信する。 ■目標 街に遊びに来る人、新たに住む人が街の活動に参加しやすい環境を作る。 ■成果 街を利用する人の増加、街に馴染む新住人の増加。
活動内容	（上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。） 《街のアイコンとして機能するリヤカーワゴンの設計・製作》 イベント時の集合場所や、コミュニティエリアとして機能するリヤカー型のワゴンを製作する。SNSで街情報を発信する際、写真でエリアと製作したワゴンを一緒に写し、大門の新たなアイコンとして発信する。イメージ図を補足資料に示した。 《地元の人以外は入りにくいお店を楽しむツアー》 大門には、宝来ビリヤード場をはじめとした昭和レトロを感じるお店が残っているが、喫茶店なども外から訪れた人には興味はあるが入るのを躊躇してしまうお店がいくつも存在する。そこで、一人だと躊躇するが魅力的なお店を一緒に楽しむツアーを企画する。 《ウェブを利用したまち歩きイベント》 コロナの影響により、イベント、ツアーも三密対策が必須である。そこで、スマートフォンでアクセスできるイベントマップを用意し、参加者は開催日の開催時間内なら好きな時間に、イベントマップのヒントを参考にしながら大門のスポットをめぐる魅力発見イベントを開催する。 《イベント参加記念の缶バッジ》 イベント参加者に、記念品として大門オリジナル缶バッジをプレゼントする。缶バッジには開催日が刻印される。缶バッジはイベント参加証としても機能するため、服などに付ければ大門地区のお店の人たちに参加者だと認知してもらえる効果が期待できる。 《講師を招聘しての講演会》 名古屋大学の高野雅夫教授に依頼し、豊田の農山間部で移住してきた若者に小さななりわいを作る講座の成功事例から、都市部の商店街で小さななりわい作りのよる活性化の可能性について講演していただく。

活動予定 期 間	2021 年 7 月 ～ 2022 年 2 月	
助成金交付 申 請 額	50,000 円	※1 回目（上限 5 万円） ※2 回目、3 回目（上限 10 万円）

2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

審査基準 ① 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か ・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か
<p>（活動の必要性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。）</p> <p>リヤカーワゴンは、店舗などの拠点を持たない本グループにとって、イベントの集合場所として機能する。また、SNS でワゴンの認知が進むことで街のアイコンとなり、街の新たな名物として広告効果が期待できる。</p> <p>地元の人以外は入りにくいお店を楽しむツアーは、新大門商店街にある飲食店および遊戯場が対象で、地域の活性化を目的としたイベントであり、大門の街の人と大門を訪れた人、および大門で新たに暮らし始めた人をつなげる効果が期待できる。</p> <p>ウェブを利用したまち歩きイベントは、大門を訪れる人がコロナ感染対策をしながら自分のペースで街の魅力を発見できる。また、お店のお得な情報などをリアルタイムで載せることもできる。</p> <p>缶バッジは、イベント参加者に特別感を与え、大門地区への愛着が強まる効果が期待できる。</p> <p>講演会は、まず新大門商店街の人たちに『これからの街が果たす役割と可能性を考えるきっかけ』を作り、新大門商店街に興味がある人がアフターコロナの社会で、『街に居場所を作って生活をする手段を見つける』ためのヒントになる。</p>	
審査基準 ② 実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容が具体的になっているか ・活動内容の資金計画などは妥当か ・人員や規模などは妥当か
<p>（活動の実現性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。）</p> <p>《活動内容の具体性》</p> <p>2 月 28 日にウェブを活用したまち歩きのイベントを実施し、コロナ感染対策を意識した、イベントマップのペーパーレス化、ソーシャルディスタンスの確保、引率者のいない探検型まち歩きを約 70 名の方に体験していただいた。その結果から、今後の改善ポイントも把握している。缶バッジについては、上述のイベントで参加者が自分で缶バッジのデザインを選び加工する工程も体験してもらい大変好評であった。</p> <p>《資金計画の妥当性》</p> <p>缶バッジの資金については、2 月 28 日のイベントの結果に基づき計画している。</p> <p>リヤカーワゴンの資金については、補足資料の設計・制作案 1 に基づき計画している。</p> <p>講演会の謝礼金額については、講師である高野雅夫教授のこれまでの活動実績から妥当と考える。</p> <p>《人員や規模の妥当性》</p> <p>人員については、ウェブを有効活用することで必要最低限の人数で運営可能である。</p> <p>リヤカーワゴンの保管場所については、確保済みである。</p>	
審査基準 ③ 発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか
<p>（活動の発展性について、上記観点から分かりやすくご記入ください。）</p> <p>新大門商店街振興組合がこれまでの取り組みで苦労してきた、新住人との繋がり作りについて、本グループがこれからの活動を通じて両者の橋渡し役になるコミュニティデザインを進めることが、商店街を利用する新住人を増やすことに貢献できると考えている。</p> <p>作り上げたコミュニティは、本グループを中心に他の地域のまちづくり情報を収集し、活動実施後にも地域の課題解決のための相談窓口として機能していくことを目指す。</p>	

- 3 活動にあたり他団体（町内会、自治会他）、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
新大門商店街振興組合	本グループは、名古屋市の事業であるナゴヤ商店街オープンで結成したため、新大門商店街振興組合とは協力関係にある。2月28日にまち歩きのイベントを開催し、それ以降は定期的に交流をしている。

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

まちづくり活動の実施スケジュール

・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。

・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
2021	4		
	5		
	6		
	7	外部講師による講演会開催	講演タイトル 商店街活性化につながるなりわいづくり（仮）
	8	地元の人以外には入りにくいお店を楽しむツアー	ビリヤード体験、純喫茶でお茶をしながらマスターから昔の大門の話を聞く
	9	リヤカーワゴンのデザイン決定、製作開始	デザインの最終決定を行い、土台にするリヤカーを購入する
	10	ウェブを利用したまち歩きイベント	まち歩き用専用サイトのヒントを見ながら大門の歴史を感じるスポットを探索する
	11	リヤカーワゴン完成・お披露目	リヤカーワゴンのお披露目イベント開催
	12	活動報告の実施	12月までの活動を振り返り、SNSで活動報告を行う
2022	1	新年会イベントの開催	大門で初詣をするイベント
	2	総括会議の実施	各イベントの内容を精査し、次年度の課題抽出
	3		

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

	費目 手引きの費目を参照	活動項目	内訳・算出根拠	金額 (円)
まちづくり活動助成金（申請金額） ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目は10万円				50,000円
活動経費の内訳	物品費	缶バッジ材料	加工前缶バッジ 200個 5,000円	5,000円
	物品費	缶バッジ装飾フィルム	缶バッジ専用フィルム 200枚 2,000円	2,000円
	物品費	リヤカーワゴン	木材、金具、キャスター、木ネジ、布、シンク	25,620円
	消耗品費	会議資料 講演会資料	プリンターインク、用紙	5,000円
	消耗品費	講演会	講演会参加者と講師に提供するペットボトルお茶代 30人分を想定	3,000円
	謝金	講演会	高野雅夫教授の講師料	10,000円
支出合計				50,620円

※1ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。